

今、切り開く教育力 大谷大学3学部化シンポジウム【社会学部※新設編】

社会×地域

— Be Real 地域社会のこれからを考える —



複雑化、不安定化が増す社会。少子高齢・人口減少の時代を迎えながら、さらに都市圏と地域との二極化が進み、閉塞感・孤独感は広がり続けています。果たして、私たちはどこに向かっているのでしょうか。本シンポジウムでは、有識者・大学教員（新設する社会学部所属予定）とともに、地域社会のこれからについて考えていきます。

※社会学部は設置構想中のため、名称・内容などは予定であり、変更される場合があります。

基調講演

取材から見えてくる 現代社会と 期待する若者像

福島 敦子氏
(ジャーナリスト)



2017年
5月21日
日時
開場／13時30分
開演／14時
終了／16時(予定)

参加無料
定員**300人**
事前申込制

場所
大谷大学 講堂
(京都市北区小山上総町)
京都市営地下鉄烏丸線
国際会館行「北大路」駅すぐ、
JR京都駅から乗車時間約13分

出演者
ディスカッション
福島 敦子氏
志藤 修史
大谷大学文学部社会学科教授
【社会学部長就任予定】
野村 明宏
大谷大学文学部社会学科教授
コーディネーター
友澤 和子
朝日新聞出版
「大学ランキング」元編集長

Be Real

大谷大学の教育を学内外に対して示す、象徴となる新しいメッセージ。「Real」には仏教でいう「真実」と、目の前にある「現実」の2つの「実」の意味を込め、「Be」は「足場をおく」「成る」を表す。つまり、真実を求めることと、人間や社会の現実から目を離さないという2つを同時に表現している。

社会×地域 — Be Real 地域社会のこれからを考える —

出演者プロフィール

福島 敦子氏 (ジャーナリスト)

ふくしま・あつこ ● 津田塾大学卒。中部日本放送を経て、1988年に独立。NHK、TBSなどで報道番組のキャスターを担当。テレビ東京の経済番組や週刊誌「サンデー毎日」での連載対談をはじめ、日本経済新聞、経済誌など、これまでに700人を超える経営者を取材。現在、BSジャパンの経済番組「マゼランの遺伝子〜未来を開く挑戦者たち〜」のキャスターを担当。経済・経営をはじめ、環境、コミュニケーション、農業・食などをテーマとした講演やフォーラムでも活躍。上場企業の社外取締役や経営アドバイザーも務める。



野村 明宏 (文学部社会学科教授)

のむら・あきひろ ● 1970年神戸生まれ。京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学。京都大学大学院21世紀COEプログラム研究員、四国学院大学社会学部准教授を経て、2015年大谷大学文学部准教授、2017年同大学教授。新学部現代社会学科では、ポピュラー文化を主な研究対象にして、変容する社会と個人の関係に焦点を当てる。現代とはいかなる時代なのかを社会学の理論的知見から探究。



志藤 修史

(文学部社会学科教授【社会学部長就任予定】)

しどう・しゅうし ● 1964年佐賀県生まれ。龍谷大学大学院文学研究科修士課程修了後、社会福祉法人京都市社会福祉協議会所属、2005年大谷大学文学部専任講師、2008年同大学准教授、2013年同大学教授。社会福祉士。4月新設の地域政策学コースでは「高齢者」「聴覚障害者」「都市の過疎化」などをテーマに地域住民と学生と一緒に課題発見・解決を探るフィールドワークを担当。



■コーディネーター

友澤 和子

(朝日新聞出版「大学ランキング」元編集長)

ともさわ・かずこ ● 朝日新聞出版書籍編集部部長。横浜市出身。早稲田大学教育学部卒業後、朝日新聞入社。新聞・雑誌記者時代、教育問題を多く取材。「朝日新書」創刊に携わり、「一日一生」などベストセラーを多く手掛ける。「AERA」副編集長、「AERA大学ムック」「AERAイングリッシュ」「大学ランキング」などの編集長を経て現職。高校生、中学生の2人の母でもある。



応募方法

はがき・FAX・電子メール・WEBフォームのいずれかで①郵便番号②住所③氏名④年齢⑤性別⑥電子メールまたは電話番号⑦職業⑧参加希望人数⑨シンポジウムで聞きたいこと(任意)を明記して、下記まで応募ください。

2017年
5月8日(月)
必着

- はがき：〒530-8612 日本郵便(株)大阪北郵便局私書箱191号
朝日新聞大阪本社メディアビジネス局
「大谷大学5月シンポジウム」係
- FAX：06-6231-9029 (24時間受け付け)
- 電子メール：otani@asahi.com (24時間受け付け)
- WEBフォーム：http://www.asahi-web.net/otani/ (24時間受け付け)



※FAX、電子メールには「大谷大学5月シンポジウム」と明記してください。※応募者多数の場合は抽選。当選の発表は聴講券の発送をもって代えます(聴講券の発送は開催日1週間前をめどとします)。※お預かりする個人情報は、本シンポジウムの実施運営に関わる業務の目的以外には使用しません。

お問い合わせ：朝日新聞大阪本社メディアビジネス局 TEL06-6201-8302 (平日10時～17時)

大谷大学3学部化シンポジウム開催のお知らせ

全学部編

Be Real — 人文科学系大学の使命 —

日 時 6月24日(土)
開場／13時30分 開演／14時
終了／16時30分(予定)

基調講演 鷺田 清一氏
(哲学者・京都市立芸術大学学長・大谷大学客員教授)

木越 康 (大谷大学学長)

ディスカッション 鷺田 清一氏／木越 康／友澤 和子

会場 大谷大学 講堂



鷺田 清一氏

教育学部※新設編

Be Real “寄りそう教育” — 次の世代へのメッセージ —

日 時 7月15日(土)
開場／13時30分 開演／14時
終了／16時(予定)

基調講演 住田 裕子氏 (弁護士)

住田 裕子氏

ディスカッション 関口 敏美 (大谷大学教授【教育学部長就任予定】)

富岡 量秀 (大谷大学教授【真宗保育 幼児教育学】)／友澤 和子

会場 大谷大学 講堂



住田 裕子氏

申し込み方法・詳細については、後日、朝日新聞、大谷大学HPにて公開します。テーマは変更となる場合があります。

※社会学部、教育学部は設置構想中のため、名称・内容などは予定であり、変更される場合があります